

印刷年月日: 2019年10月07日
初版年月日: 1993年03月23日
改版年月日: 2017年03月30日

安全データシート

SDS No. 16674

1. 化学品及び会社情報

製品名: **ニュークリンスター HP**

会社名: 栗田工業株式会社
住所: 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
担当部門: 品質保証部

電話番号: 03-6743-5020
FAX番号: 03-3319-2026

緊急連絡先: 栗田工業㈱
緊急連絡先電話番号: 06-6228-4865
推奨用途及び使用上の制限: 空調冷却水系のスライム・軟質スケール除去用中性洗浄剤
* 通常のお問い合わせは、緊急連絡先へお願いします。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1



注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害
長期又は反復暴露による臓器の障害

注意書き
安全対策

保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書入手すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
このラベルの指示に従った特別処置が緊急に必要なこと。
眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合には外すこと。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露またはその懸念がある場合: 医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
確実に保管すること。紛失・盗難に気をつけること。
都道府県の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名	化学式	含有量(%)
アクリル酸系ポリマー	非開示	非開示
過酸化水素	H2O2	1~10

化学名又は一般名	化審法番号	CAS No.	安衛法番号
アクリル酸系ポリマー	非開示	非開示	
過酸化水素	1-419	7722-84-1	

危険有害不純物

総水銀 (Hg)
ヒ素 (As₂O₃)
鉛 (Pb)
シアン (CN)
総クロム (Cr)
カドミウム (Cd)

分析結果

検出せず
検出せず
検出せず
検出せず
検出せず
検出せず

検出限界

0.01mg/kg Hg
0.1mg/kg As₂O₃
0.05mg/kg Pb
0.1mg/kg CN
0.5mg/kg Cr
0.01mg/kg Cd

分析方法

還元気化原子吸光度法
DDTC-Ag吸光度法
原子吸光度法
ピリジニピラゾロン吸光度法
ジフェニカルハイド吸光度法
原子吸光度法

4.応急措置

◆情報◆

吸入した場合
皮膚に付着した場合

空気の新鮮な場所に移し、安静・保温につとめ、速やかに医師の手当を受ける。

皮膚に付くと炎症を起こすことがある。

触れた部位を、多量の水で洗い流す。

汚染した衣服は直ちに脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。

炎症、痛みなどが残れば、医師の手当を受ける。

眼に入った場合

目に入ると、激しい痛みを伴い葉傷をおこす。視力の低下、乱視、失明のおそれがある。

直ちに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

直ぐに医師の治療を受けて下さい。もし飲み込んだ場合は、医師の指示があるまで無理に嘔吐させない。

5.火災時の措置

消火方法

可燃物ではないが、分解して酸素ガスを発生し、火災を激しくするので注意する。

周辺で火災が生じた場合は、火元から遠ざけるか、移動が困難な場合は水で冷却すること。

消火剤

使ってはならない消火剤

6.漏出時の措置

漏出時の措置

大量に漏洩した場合も、元の容器に戻してはいけない。

土砂などで流れを止め、安全な場所に大量の水で希釈して洗い流す。

濃厚液が河川などに流れ込まないよう注意する。

汚れた液を元の空容器に回収した場合、汚れにより分解されて多量の酸素ガスを発生するので、密栓すると内圧により容器が破損して液が周囲に噴出するので、栓をしてはいけない。

汚れた液を元の空容器に回収した場合、汚れにより回収液が分解されて多量の発熱をするので、液が沸騰したり、容器が軟化・変形して液が流出することがある。密栓せずに容器を水で冷却しておく必要がある。

汚れた液を金属容器に回収した場合でも、分解・発熱するので、密栓せずに容器を冷却する必要がある。

少量の漏洩の場合は多量の水で洗い流す。

木、布等可燃物と接触した場合は、大量の水で十分に洗い流す。

除去方法

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

7.取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

吸い込んだり、眼・皮膚に触れないように、保護マスク・保護眼鏡・長袖の作業衣・ゴム手袋等を着用して作業すること。

酸、アルカリ、酸化剤、還元剤との混合を避けること。

使用済みの容器を飲料用、その他の用途に使用しないこと。

一度容器から取出した液は、目視で清浄であっても異物混入の原因になるので、元の容器内に戻してはいけない。

ポリ缶内の液は、1回の洗浄に全量使用するように計画すること。

アルカリ側では不安定で、速やかに分解・発熱するのでアルカリ剤との混合は特に避けること。

容器中の原液にアルカリが混入すると、分解時の発熱で液が沸騰したり、発生ガスの内圧により容器が破損する原因になる。

酸化剤や還元剤と接すると急激に分解され発熱する。

容器中の原液に酸化剤や還元剤が混入すると、分解時の発熱で液が沸騰したり、発生ガスの内圧により容器が破損する原因になる。

銅・銅合金、軟鋼、チタンとの接触によっても分解されるので、濃厚液の扱いには注意を要する。

スライム(微生物等及び軟泥状物)等によっても速やかに分解されて酸素ガスを発生し、発熱する。

容器内の液に異物を混入させてはいけない。異物の混入により、分解・発熱し、発生酸素ガスの内圧により容器を破損する原因になる。

軟鋼などの平滑な面での分解は少ないが、表面が荒れていたり、鉄錆等が付着していると速やかに分解される。

スライム等の除去洗浄に希釈液を使用する場合も、汚れが多いと急激に分解・発熱し、酸素ガスを多量に発生し発泡及び液の逆流・溢出の原因になる。一度に全量を注入するのではなく状況を見ながら徐々に添加すること。

スライム等の除去洗浄に希釈液を使用する場合、洗浄対象の入口・出口弁を閉にすると、発生ガス

の内圧により機器を損傷するので、必ず両方または片方の弁を開いておき、内圧を逃がせるようにしておくこと。
 単位面積当たりの内圧が小さい場合も、表面積が大きいと大きな力になり、装置及び容器等を破損する原因になるので注意を要する。
 ポリ缶内で洗浄用ブラシを洗い、汚れを混入させると、分解・発熱・発ガスにより容器を破損する原因になるので、液の入った梱包用ポリ缶に物を入れてはいけない。

技術的対策
 安全取扱注意事項、接触回避

【保管】

使用時以外は直射日光を避け、換気のある冷暗所に密閉保管する。
 酸、アルカリ、酸化剤、還元剤、可燃物と離して保管すること。
 容器から一度取出した液は、目視で清浄であっても、元の液に戻し混合しないこと。
 例え、僅かでも金属や異物の入った物は、分解・発ガスにより容器が破損する原因になるので、密栓して保管しないこと。異物の混入した物は、保管しないこと。

安全な保管条件
 安全な容器包装材料

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度
 許容濃度

設定されていない
 過酸化水素：
 日本産業衛生学会（2005年）設定されていない
 ACGIH（2005年）TLV-TWA 1ppm

設備対策

(注)TLV-TWA：1日8時間、1週間40時間の労働時間内の時間加重平均暴露許容濃度の勧告値
 管理・許容濃度以上の作業環境では局所排気装置を設置する。

保護具
 呼吸用保護具
 手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具

保護マスク着用
 ポリ塩化ビニール製あるいは合成ゴム製の手袋着用
 保護眼鏡着用
 長袖の作業衣着用

9.物理的及び化学的性質

色
 形状
 臭い
 pH
 融点・凝固点
 沸点、初留点及び沸騰範囲
 引火点
 爆発範囲 上限 下限
 蒸気圧
 比重
 溶解度
 n-オクタノール／水分配係数
 自然発火温度
 分解温度
 粘度
 CODMn量
 BOD
 全窒素含有量(T-N)%
 全リン含有量(T-P)%
 その他データ

無色
 液体
 3.5～5.5(20℃ 参考値)
 -5℃以下
 なし
 爆発範囲上限：
 爆発範囲下限：
 1.00～1.04(20℃)
 水：水に任意に溶解する
 20mPa・s以下(30℃ 参考値)
 2.5%(参考値)

10.安定性及び反応性

反応性
 化学的安定性
 特定条件下で生じる危険有害反応可能性
 避けるべき条件
 混触危険物質
 危険有害な分解生成物

11.有害性情報

急性毒性
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

経口 2000mg/kgを越える(成分からの計算値)より
 (GHS分類)区分外となる。
 皮膚に付くと炎症を起こすことがある。
 過酸化水素の厚生労働省分類により(GHS分類)区分1⇒区分2(濃度限界5%未満)となる。
 眼に入ると、激しい痛みを伴い薬傷をおこす。視力の低下、乱視、失明のおそれがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性、単回ばく露 特定標的臓器毒性、反復ばく露 吸引性呼吸器有害性 その他の有害性	過酸化水素の厚生労働省分類により(GHS分類)区分1となる。 過酸化水素の厚生労働省分類により(GHS分類)区分2となる。
---	--

12.環境影響情報

生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	LC50:ヒメダカ(24)時間:2300mg/Lより(GHS分類)区分外となる。
--	--

13.廃棄上の注意

(残余廃棄物)の廃棄上の注意	直接排水溝には絶対流さないこと。 薬剤が、活性汚泥処理設備に流れると、微生物(活性汚泥)が死滅したり、その動きが弱まり、処理不能あるいは処理効率が低下することがある。 ニュー クリンスター HP量(または使用量)の 1/200量のクリケミカル K-300を添加・混合し、約30分静置または攪拌して成分を分解処理した後、排水基準値以内に入るように水で希釈して排水する。 主成分濃度試験紙チェクルKSが有る場合は、残存成分濃度の 1/10濃度分のクリケミカル K-300を添加して処理すれば良い。 クリケミカル K-300を一度に添加すると、急激に分解して発熱・発ガス・発泡して危険な為、少量ずつ様子をみながら全量を添加すること。 排水処理が困難な場合、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。
(汚染容器・包装)の廃棄上の注意	

14.輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報	国連分類:クラス8 国連番号:1760
容器等級 海洋汚染物質 海上輸送コード(IMDGコード) 航空輸送コード その他	容器が破損しないようにし、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。

15.適用法令

消防法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
化学兵器禁止法	該当なし
輸出貿易管理令	該当なし
労働安全衛生法	該当あり
過酸化水素	法 第57条の2 通知対象物
過酸化水素	法 第57条 名称等を表示すべき有害物
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし
港則法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし
水質汚濁防止法	該当あり
過酸化水素	令 第三条の三 指定物質
化審法	該当あり
過酸化水素	法 第2条第5項 優先評価化学物質 通し番号 89

16.その他の情報

記載内容は、本シート作成時に入手可能な資料、情報、データに基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。
この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
本シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

以上